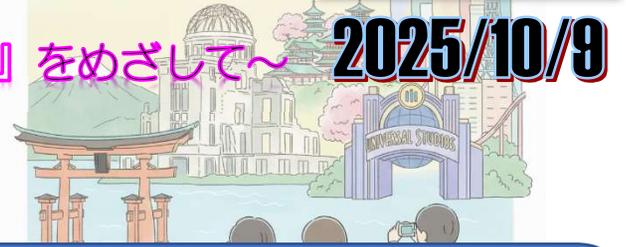


『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ 2025/10/9

SAH×修学旅行 「和」と「輪」



2年生修学旅行が近づいてきました。一学期から修学旅行委員が集まり、テーマやルール、楽しめるイベントなど色々なことを話し合いで決めてくれています。修学旅行はプライベートの旅行ではありません。プライベートであれば、社会に迷惑をかけず自分“だけ”楽しければそれでいい。だけど、修学旅行は200人の団体行動。我慢しなきゃならないところも当然あるし、安心・安全も考えていかなければならないし、みんなで「100%合意」することは難しい。納得解を探すために試行錯誤して、時間はかかりますが、みんなが楽しめる“前南の2年生にしかできない修学旅行”を作り上げてくれています。(編集 教頭)

生徒が考えて、話し合っ、決めたこと

①修学旅行委員が話し合い、旅行テーマを決定 5/8 修学旅行委員会→

「青春を永遠に 学びを広げ深める“和”と“輪”」

②2日目のクラス別行動→学年全体で USJ に

★“学年全員で USJ に行き、青春を謳歌し絆を深めたい”という声があがる

昨年度の修学旅行でも、2日目に USJ に行きました。最初から旅行の行程の中に組み込まれていたわけではなく、旅行委員長が先生に相談をして決めた内容でした。今年の旅行委員会では、まず「青春を永遠に 学びを広げる“和”と“輪”」を旅行テーマとして掲げ、何が出来るか考えてきました。その中で、“学年全員で USJ に行き青春を謳歌し絆を深めたい”という声があったため、まず学年全生徒に USJ に行きたいかアンケートを実施しました。アンケートの結果はほとんどの生徒が「行きたい」または「どちらでもよい」と答え、何名かの生徒が「行きたくない」と答えました。行きたくない生徒の意見としては、「混雑が予想されアトラクションにはほとんど乗れない」「人混みが苦手」などの意見がありました。旅行委員会の全員で USJ に行きたいという意見と行きたくない生徒の意見の納得解を探し、「必ずしもアトラクションに乗らなくても雰囲気を楽しむだけでもよい」「近くのショッピングモールにいてもよい」などそれぞれが楽しめるような意見で合意形成をしました。



★行く際の注意点・課題も・・・

USJ に行くにあたって課題もあります。例えば、「その日の午前中は平和記念公園に行くが服装はどうするのか」や「ホテルに帰る時間が決まっているが、全員が時間を守るのか」や「SNS に載せないようにするにはどう呼びかけたらいいのか」など、細かいことを考えるとまだまだあるでしょう。遊び目的の旅行にならないようにするために、今後旅行委員会で課題を考えルール作りをしていきたいと思います。保護者や学校の理解が得られるように慎重に検討をしていきます。(7/2「旅行通信」より)



③「旅行通信 “和”」

修学旅行委員が広島や京都の観光地・名所、そして関西弁を紹介するなど工夫を凝らして作成・発行してくれています。

④修学旅行委員によるルール・メイキング

私服については、生徒からアンケートをとって、修学旅行委員で話し合っ最終的に決定しました。平和記念公園に行くことも踏まえた服装となりました。

USJ 内でのルールも旅行委員が決めました。

旅行委員が決めたルールは教員も共有し、全生徒に 9/25 全校集会【次頁写真】で修学旅行委員から伝えられました。「旅行のしおり」に掲載されています【右資料】。

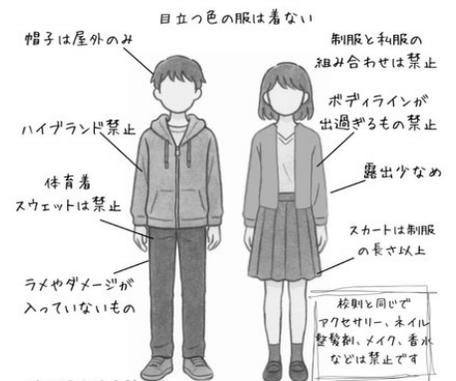
⑤修学旅行委員発案の[企画]

□旅の一句コンテスト 俳句か写真を提出して優秀作品には賞品が！

□先生スタンプラリー 班別行動で巡回している先生を見つけ出せ！

修学旅行における身だしなみと姿勢

修学旅行は楽しい行事ですが、学校生活の一部でもあります。公共の場では周囲に配慮した服装を心がけましょう。



※このイラストはあくまでも参考です。高校生として対応可能な服装にしてください。また先生の服装には配慮をお願いします。

平和記念公園を訪れるにあたって、身だしなみを整えることは大切なことですが、最も大切なことは私たちの行動です。平和への想いをもち、真剣に学ぶ姿勢を忘れないようにしましょう。

修学旅行委員に話を聞きました

高橋伶弥さん(修学旅行委員長) “和”を感じる修学旅行に

Q 昼休みに集まる修学旅行委員会ではどのようなことを話し合っているのですか？委員会の雰囲気は？

→ルール作りがメインの話し合いになっています。みんなでお弁当を食べながら、仲良く楽しくクラスを越えて話し合っています。

Q 修学旅行でどのような企画を行いますか？具体的に教えてください。

→まず一つは「旅の一句コンテスト」です。旅の感動を五・七・五にのせ、修学旅行委員が評価し上位の人に景品をプレゼントする企画です。先生方が評価する賞も考えています。そして、「先生スタンプラリー」です。2日目のUSJと3日目の班行動の間に先生に会ってスタンプを集めるという企画です。これも旅の一句コンテストと同様、スタンプが多かった班に景品をプレゼントします。」

Q 修学旅行中のルール作りはどのように行いましたか？

→私用のルール作りでは、良くない服装をとにかく言い合って、「〇〇だったら高校生らしい」「曖昧になるなら禁止にしよう」等と付け加えながら丁寧にルールを作りました。具体的には「ボディラインの出過ぎるものは禁止」「スカートの長さは制服以上」等のルールを決めました。

Q 個人的に、どこに行くのが楽しみですか？

→「亀屋清永」という、野村健司先生に教えていただいた清浄歓喜団という日本最古の和菓子 が食べられるお店です。「食べるお香」と言われている清浄歓喜団を食べてみたいです。

Q どのような修学旅行にしたいですか？

→「和」みんなで感じる修学旅行にしたいです。「和」は協調性や平和を重んじる国民性、日本文化全般を象徴します。この旅で全身に「和」を染み込ませて帰ってきましょう。



▲学年集会で修学旅行委員から説明



▲左;しおりの表紙、右;旅の一句コンテストの紹介

宮澤愛佳さん(修学旅行委員 書記)

Q 昼休みに集まる修学旅行委員会ではどのようなことを話し合っているのですか？

→修学旅行をより良くするための段取りや、昨年の先輩たちの規則をもとに話し合っています。

Q 個人的に、どこに行くのが楽しみですか？

→京都の嵐山です。中学での修学旅行で京都に行けなかったのと、古風で美しい群馬にはない景観を見るのが楽しみだからです。

Q どのような修学旅行にしたいですか？

→クラスの垣根をこえて、みんなが仲を深められるようなものにしていきたいと思っています。

この学年は1年生の時から“SAH”という言葉を知りました。日常生活の中でも非認知能力を意識する機会が多かったでしょう。この修学旅行ではそれがさらに発揮できればと思います！急に雨が降ってきたり、交通機関が遅延したり、班のメンバーとはぐれてしまったり、、計画になかったそんなハプニングはきっと起こるでしょう！そんな時こそみなさんの力の見せどころです！今まで身に付けた非認知能力を存分に活かして、学校の外の世界を楽しみ、学び、成長してきてほしいと感じています！

また修学旅行は楽しいものですが、自分たちで作上げた修学旅行だったらもっと楽しいですね！みなさんによりよい well-being を感じてもらうために修学旅行委員は活動してきました！名付けて「SAH 修学旅行」、みんなが満足できるようなそんな旅行にしていきたいと思っています！（修学旅行担当 横島先生）

2年生諸君と広島・関西に行けないのが悔しいので、(かつて原校長先生に担任をしてもらった)娘と行った京都の“ゴールド(D)” 閣寺と“シルバー(S)” 閣寺、そしてUSJで心臓を捧げてきた100%プライベートな写真を載せます。現地のおいしい“料理”を腹一杯食べて、決して“迷子”にならず、団長の言うことをしっかり聞いて、初めて行く土地をしっかりと“調査”をして帰ってきてください。(教頭 長岡将之)



☆校長(修学旅行団団長)より☆ 今回、修学旅行委員が中心となり、「前南の修学旅行」を実現するためのルールメイクや企画を行ってくれました。「連れていってもらった修学旅行」ではなく、自分事として考えられる修学旅行になっていると感じました。これこそ前南の修学旅行だと思います。

さて2年生の皆さん、本文中にある通り、修学旅行は200名近い皆さんの集団行動です。そのため、修学旅行ならではの楽しみもあるし、困難もあります。この、修学旅行を、皆が楽しめる旅行としなければなりません。これは皆さんのエージェンシーにかかっていると思います。皆さんひとり一人の関わりによって素晴らしい修学旅行になることを期待しています。(校長 原 拓史)